

分野：②生態系・生物多様性

(入間川河川敷の生物調査)

環境アドバイザー

福田 直

対象 水富小学童保育室児童 (25 人)

所要時間  2 時間

場所 狭山市昭代橋周辺

実施時期 令和3年8月24日午後

概要

入間川河川敷の生物 (主に帰化植物) 調査

プログラムの
ねらい

入間川河川敷の生物 (主に帰化植物) を調べ、河川及び河川敷の改修工事による生物多様性への影響について考える。

プログラムの内容

1 カヌー実践 (75 分)

カヌー技術を上達させる。

カヌー上から河川及び河川敷周辺の自然環境を観察する。

2 自然観察 (40 分)

河川敷の帰化植物調査

3 まとめ (5 分)

受講者の反応

「ヒメジョオン、アカツメクサ、オオキンケイギク、ワルナスビ、オシロイバナなどの帰化植物が多く見られ、河原の帰化率が高い (10m四方で 35%) ことを学んだ」、「河川敷にもいろいろな動植物がいることを知ることができた」、「河川公園には在来種のオニグルミやサクラ、外来種のイチヨウやハリエンジュ、クワなどがあつた」、「イチヨウの雌雄の見方がわかつた」、「楽しかつた」などの感想から、観察会に関心を持ち、有意義であつたと捉えている。

